

## 石川

2019年2月1日

## 医療ツーリズム 可能性は 先端大セミナー アジアの事例紹介

海外から日本に患者を呼び込む医療ツーリズム（観光）をテーマにしたセミナーが三十日、金沢市香林坊の県教育会館であった。北陸先端科学技術大学院大（JAIST）の社会人向けセミナーと交流会「c o - c a f e + @ J A I S T」（北陸中日新聞など後援）で、約二百人が参加した。

中央大大学院の真野俊樹教授が「医療ツーリズムと医療で『稼ぐ』ということの意味」の題で講演。シンガポールやタイなど医療ツーリズムに取り組むアジアの事例を紹介し、「実際には難しい面もあるが、医療レベルが世界一の日本で医療を受けたい人はかなりいる」などと説明した。

その後は医療関係者らを交えたパネルディスカッションを開き、医療ツーリズムの可能性と課題について意見交換した。（横井武昭）



医療ツーリズムの可能性や課題について話し合うパネリストら＝金沢市の県教育会館で